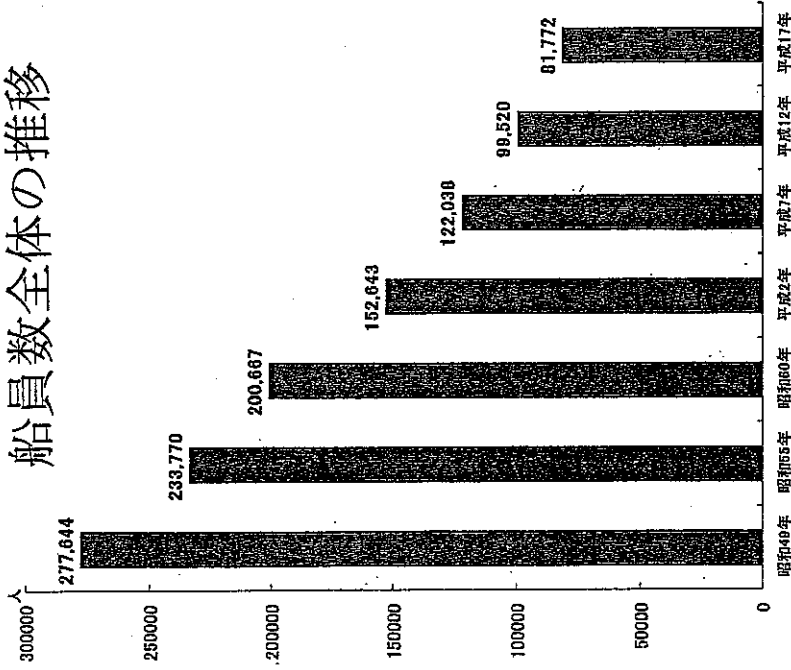


# 全国の船員の状況について

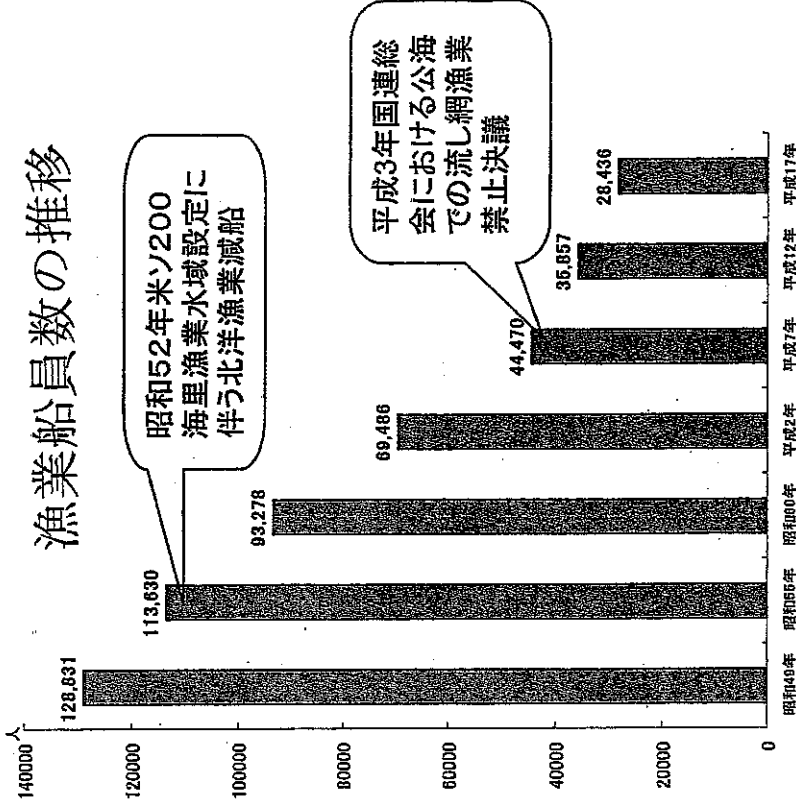
## 1. 日本人船員数の推移（全体及び漁業）

船員数全体の推移



船員数全体も年々減少傾向にあり、過去30年間で7割減となっている。各業種の船員数の推移から、今後も減少の一途を辿ることが推測される。

漁業船員数の推移



漁業船員数も年々減少傾向にあり、過去30年間で8割弱の船員数が減少している。年齢構成をみると、職員については高年齢化しており、部員は若年層が多い。

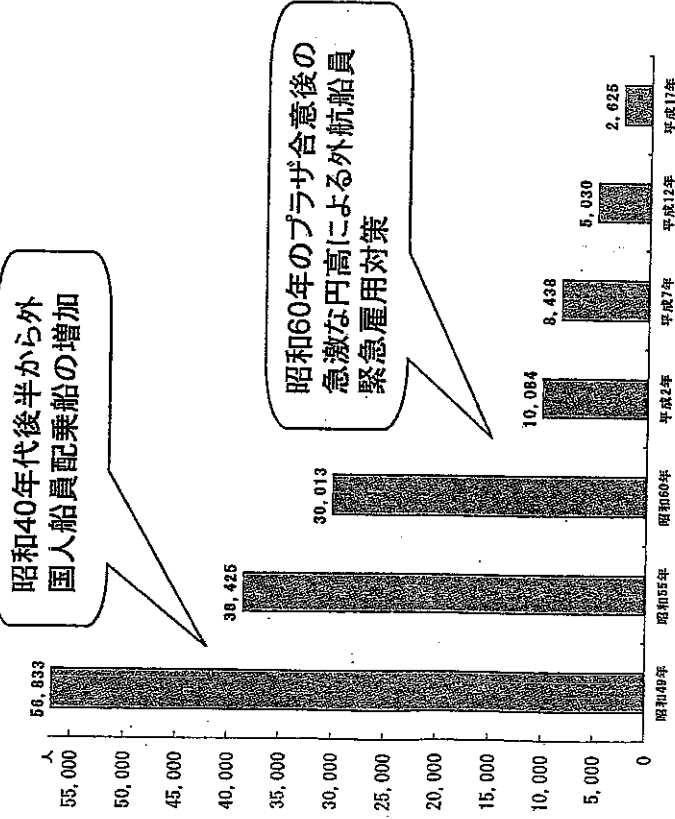
※船員数は乗組員数と予備員数を合計したものであり、わが国の船舶所有者に雇用されている船員である。

出典：国土交通省交通政策審議会海事分科会

ヒューマンインフラ部会

## 2. 日本人船員数の推移（外航及び内航）

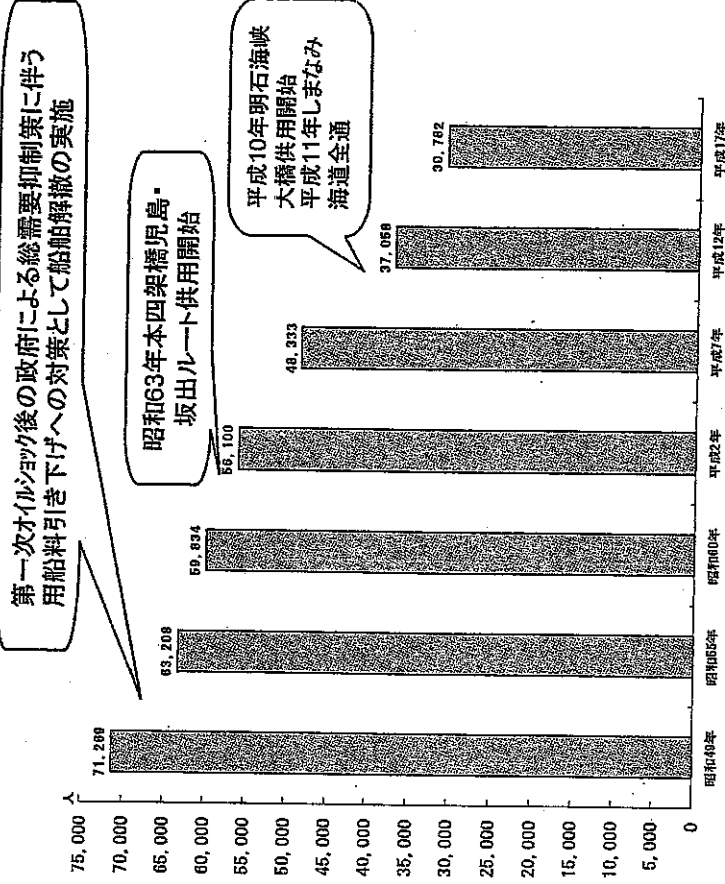
### 外航船員数の推移



国際競争の激化等に伴う外国人船員の代替により、外航船員数は年々減少し、30年前のおよそ20分の1の水準に。年齢構成を考慮すると、今後数年間でさらに減少が見込まれる。一方で、日本商船隊の急速な拡大と世界的な船員不足が今後見込まれることから、優秀な日本人船員（海技者）の確保が急務となっている。

※船員数は乗組員数と予備員数を合計したものであり、わが国の船舶所有者に雇用されている船員である。

### 内航船員数の推移



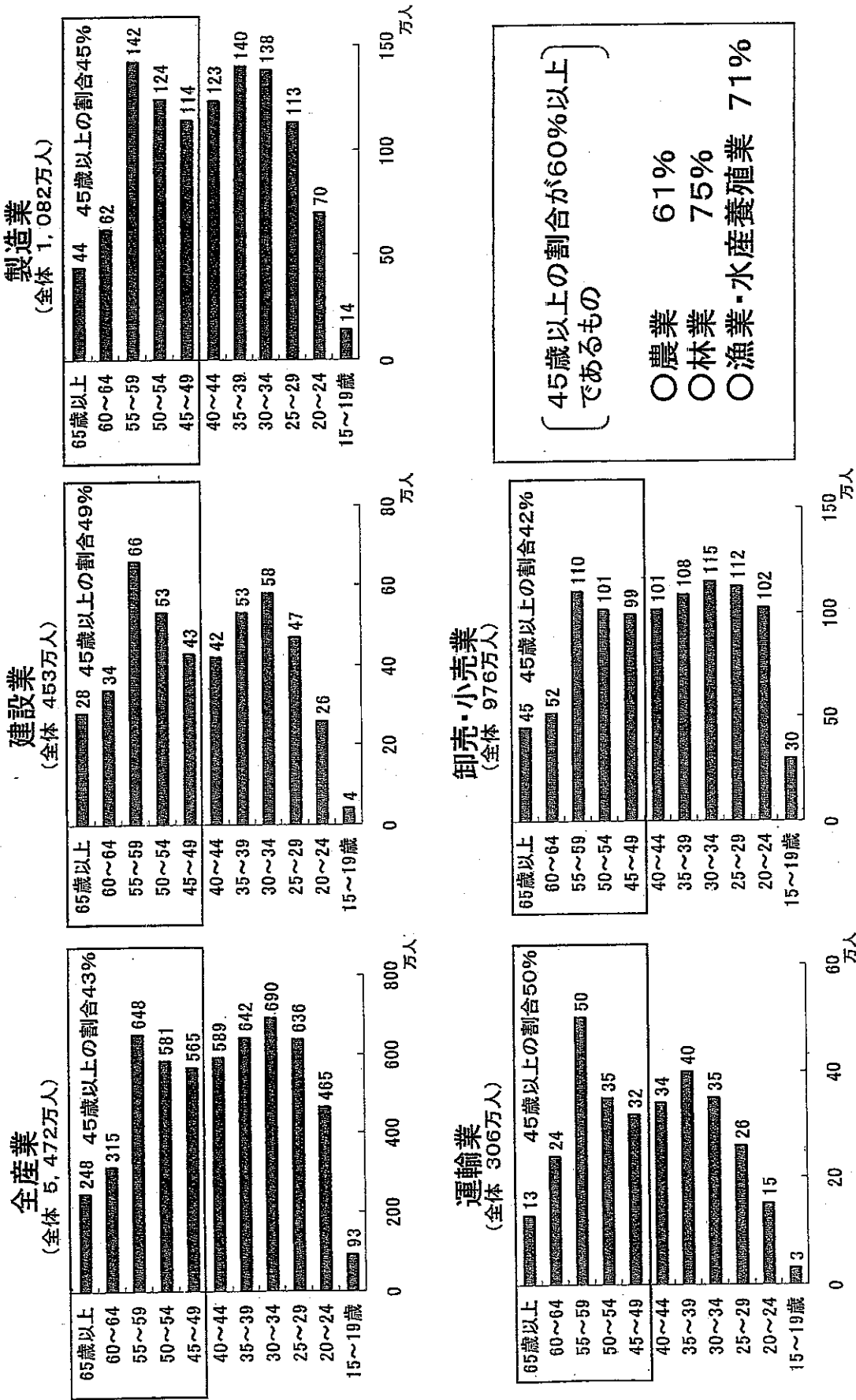
内航船員数も外航船員ほどではないものの年々減少傾向にある。年齢構成は外航よりも歪であり、団塊の世代の引退により、今後10年間で約4割の船員が退職年齢に達する。

出典：国土交通省交通政策審議会海事分科会

ヒューマンインフラ部会

### 3. 他産業における雇用の年齢構成

#### 年齢階級、産業別雇用者数



出典：国土交通省交通政策審議会海事分科会

ヒューマンインフラ部会